

令和2年度 体協ニュース

No.	2-④
行事名	加盟団体会長会・理事長会
会場	板橋区立グリーンホール 2階ホール
日時	令和2年10月28日(水) 午後6時30分～
主催	公益財団法人 板橋区体育協会

令和2年10月28日(水)午後6時30分より、公益財団法人板橋区体育協会役員(理事及び監事)と体育協会加盟27団体の会長と理事長(代理含む)が集まり、「加盟団体会長会・理事長会」が開催されました。



司会は福澤敏子総務部長が務めました。

初めに加藤勝一体協会長より挨拶があり、続いて司会者より体育協会役員の紹介を行いました。今回は、体協理事・監事のほか体育施設の指定管理者である東京ドームスポーツから若林 諭氏が出席しました。

続いて報告事項として「令和2年度事業計画の状況報告」が安田満雄専務理事よりありました。今年度予定されていた各種行事が新型コロナウイルス感染症の関係でほとんど中止となっている状況が報告されました。次に、関 昭新規事業企画部長から「新規事業企画部の設置」について、設置目的をはじめ体協加盟団体が共同して行う新たな生活様式にあわせた事業の提案・協力について説明がありました。そして、「令和2年度育成費・賛助会費・正会員費について」飯田知広財政部長より資料に沿って、説明がありました。

次に議題として「緊急財政対策に伴うスポーツ振興課事業の見直しについて」板橋区スポーツ振興課 金子和也課長より説明がありました。板橋区は、新型コロナウイルス感染症対策として多くの予算を投入し、区民の健康・安全を確保出来るよう対策を講じており、こうした財源を確保するため各種事業の見直しが必要とされているため、ご理解をいただきたいとのことでした。体協としても、スポーツを通じて区民の健康増進に努めてきたこともあり、各加盟団体の意見を参考とし今後の事業展開も含め、理事会で継続審議を続けていくこととなりました。また、新規事業企画部と連携し加盟団体の各種事業に協力出来ることがあれば協力し、区の理解・協力を得ながら活動の場を確保していけるよう努力していくこととなりました。

そして、「令和4年度以降の板橋区民大会総合開会式について」と「都民体育大会結団式について」安田専務理事より話がありました。現状では板橋区の緊急財政対策として令和3年度については中止が決まっているため、令和4年度以降も現行通りが良いのかそれとも新しい形態を希望するのかなど、出席者からの意見を求めました。出席者からは、「新型コロナウイルス感染症対策としての意見を求めているのか財政面としての意見を求めているのか」「参加者の動員に苦慮している」「参加者の年齢によっては体力面での負担が大きいのではないか」「令和3年度の開催方法を参考に考えてはどうか」などの意見がでました。

その他、新型コロナウイルスからの感染を防止するためやむを得ず事業を中止したことや開催方法を変更したことなどについて意見交換が行われました。



最後に吉田輝男体協副会長より「体協理事会での話し合いに反映していきたいと思います。各連盟・協会からのご意見がありましたら是非、お聞かせください」と、挨拶があり閉会となりました。

(浅賀 公子記)